

令和6年度地震・津波防災訓練 (三重県大紀町・内閣府)

実施報告書 (概要版)

三重県大紀町について

(たいきちょう)

三重県大紀町は三重県の中南部に位置し、東部及び南部は紀伊山脈の分水嶺を境として東部は度会町、南部は南伊勢町、紀北町に接し、西部及び北部は大台町と隣接している。東西約25km、南北約26kmで総面積約233km²のうち約91%を山林が占め、地形は全般に急峻で、町内を流れる一級河川の宮川、大内山川、藤川沿いに民家と耕地が散在する農山村部と僅かな土地に民家が集中する沿岸部から成る典型的な農山漁村地域で、農用地は約4%、宅地は1%と狭小である。

大紀町は、比較的温暖な気候ではあるが、三重県内の他の地域と比べても降水量が多く、また、山間部と海岸部では地勢による違いがみられる。

特に梅雨時期や、8～10月の台風シーズン、秋雨時期に多量の降水があり、停滞前線等の影響を受けやすい地域といえる。

南海トラフ地震が発生した場合、大紀町では最大震度7が想定されている。

また、津波については、町内では錦地区のみが被害を受けるが、理論上最大規模の津波高は16m、最短到達時間は8分（津波高1m）と想定されており、過去最大規模の津波高は7.3m、最短到達時間は11分（津波高50cm）と想定されている。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和6年11月9日（土）午前9時頃、紀伊半島沖を震源とするマグニチュード9.1の南海トラフ地震が発生し、大紀町内では最大震度7を観測する揺れが発表され、9時2分に、大紀町錦地区では最大高さ12mの津波が到達したという想定のもと、訓練を実施。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和6年10月14日（日）10:00～12:00
【地震・津波防災訓練】令和6年11月9日（土）9:00～12:00
【訓練実施後WS】 令和6年11月9日（土）13:00～14:00
- 主催：大紀町、内閣府
- 参加者数：246名（第1部訓練）
訓練実施前WS：16名、訓練実施後WS：16名
- 参加機関：錦地区住民、紀勢地区広域消防組合、陸上自衛隊、大紀町消防団、三重県警察、三重県防災対策部、海上保安庁、中部電力パワーグリッド（株）、大紀町商工会建設部分会、大紀町食生活改善推進協議会
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、地震・津波避難訓練、関係機関災害時訓練ほか
- 訓練特色：地震・津波避難訓練に続いて、関係機関による人命救助、電力復旧、物資搬入等の訓練を行った。

訓練の成果

【成果】

- 訓練は、2部制で行われた。第1部では、シェイクアウト訓練、地震・津波避難訓練が行われた。246名が参加し、最寄り避難場所までの避難経路等の確認を行ったほか、錦小学校においては、児童を対象としたシェイクアウト訓練等を通じ、参加者の災害対応力向上を図った。
- 第2部では、三重県警察・紀勢広域消防・陸上自衛隊・中部電力パワーグリッド（株）・尾鷲海上保安部がそれぞれ救助・電力復旧・物資搬入の訓練を行った。各種訓練を見学することで、防災意識向上へつながっているものと期待される。
- 避難訓練への地域住民の参加および関心について、さらに強いものとなり、防災に対する気運の醸成が見られた。児童をはじめ幅広い年齢層に対して防災意識の啓発が行われた。
- 関係機関による各種訓練においては、各機関が自らの装備や初動行動、役割を地区住民に披露し、理解が得られていた。

【課題】

- 高齢者など避難行動要支援者を支援しながらの津波避難訓練が必要である。
- 夜間や悪天候時の避難についても訓練しておく必要がある。
- 各指定避難所における開設・運営訓練や、集落の孤立を想定した訓練は今回は実施できておらず、今後、住民を主体とした共助力を養成するための訓練が必要である。

10月14日（月）10:00～12:00 訓練実施前ワークショップ

- 「巨大災害に備える」をテーマに、前半は参加者による訓練前研修として、津波避難経路の確認や、避難上の課題等について話し合いを行った。後半は防災専門家（川口淳・三重大学教授による津波に関する講話を行った。

▼津波避難に関する講話



▼地図を用いた話し合い



11月9日（土）9:00～12:00 地震・津波防災訓練

- 地区住民は、シェイクアウト訓練の後（小学校のみ）、自宅最寄りの津波避難施設まで津波避難訓練を行った。（第1部訓練）

▼津波避難訓練



- 三重県警察、紀勢消防組合、陸上自衛隊、中部電力訓練、海上保安庁、中部電力パワーグリッド（株）による各種の訓練を行った。（第2部訓練）

▼紀勢消防組合による人命救助訓練



▼陸上自衛隊による人命救助訓練



▼海上保安庁による支援物資搬入訓練



11月9日（土）13:00～14:00 訓練実施後ワークショップ

- 直前に行った避難訓練を検証し、「各自の避難訓練の状況」、「各自の反省点」、「各地区の津波避難に関する課題」、「各地区の津波避難に関する課題の解決方法」を各班で共有し、班ごとに発表。各参加者ともに、今後のさらなる防災訓練の充実に意欲を見せた。

▼ワーキングの様子



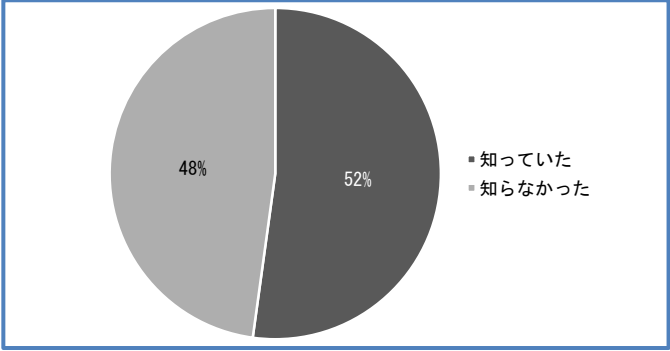
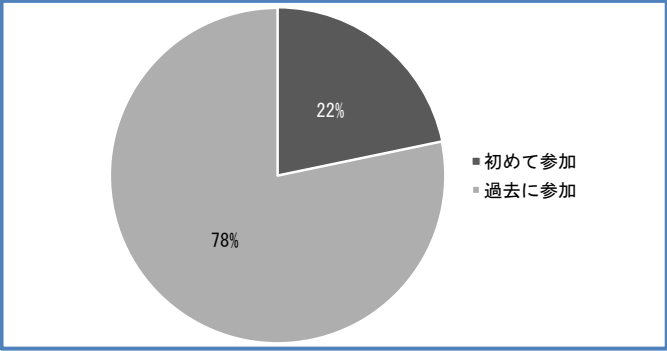
▼課題の解決方法の発表



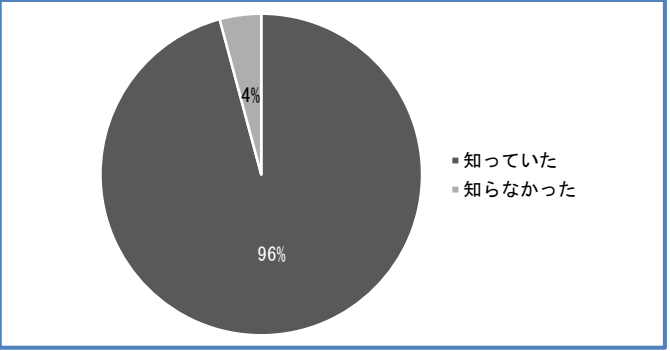
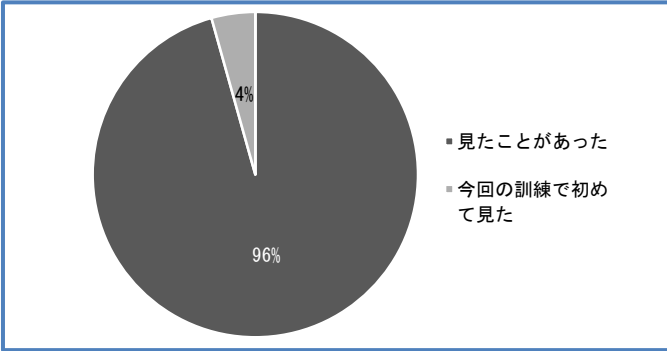
アンケート結果

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

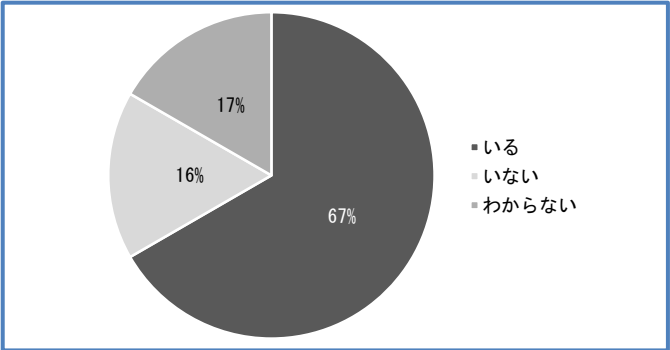
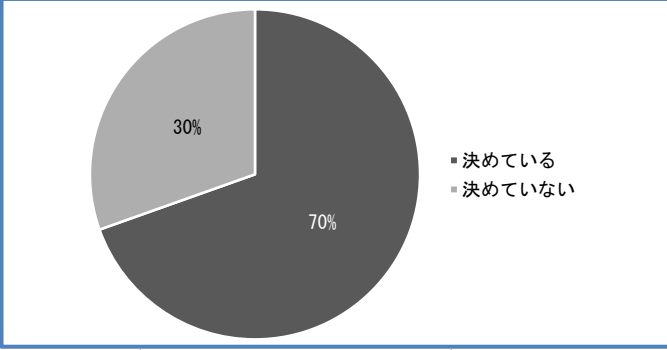
■地震・津波防災訓練に参加したのは、初めてですか。 ■11月5日が、「津波防災の日」であることを知っていましたか。



■町で作成している「津波ハザードマップ」を見たことがありますか。 ■津波に対する避難先や避難経路を知っていましたか。



■災害時に家族同士で、どのように連絡を取り合うかを、家族の中で決めていますか。 ■あなたの周辺に、避難行動要支援者（※避難のため様々な支援が必要な方）は、いらっしゃいますか。



■あなたが避難する際、可能ならば避難行動要支援者の避難を支援しようと思いますか。 ■自治会や隣近所で、災害時の避難について話し合ったことはありますか。

